

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君
教育長	永留 和博君
総務部長	木寺 裕也君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	桐谷 和孝君
しまづくり推進部長	伊賀 敏治君
観光交流商工部長	村井 英哉君
市民生活部長	二宮 照幸君
福祉保険部長	乙成 一也君
健康づくり推進部長	松井 恵夫君
農林水産部長	黒岩 慶有君
建設部長	佐々木雅仁君
水道局長	立花 大功君
教育部長	八島 誠治君
中対馬振興部長	波田 安徳君
上対馬振興部長	森山 忠昭君
美津島行政サービスセンター所長	瀧川 昌浩君
峰行政サービスセンター所長	藤原 亘宏君
上県行政サービスセンター所長	原田 勝彦君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	阿比留 裕君
監査委員事務局長	内山 歩君
農業委員会事務局長	主藤 公康君

午前10時00分開議

○議長（初村 久藏君） おはようございます。

報告します。黒田昭雄君から欠席の届出があつてあります。

ただいまから議事日程第2号により、本日の会議を開きます。

日程第1. 市政一般質問

○議長（初村 久藏君） 日程第1、市政一般質問を行います。

本日の登壇者は5人を予定しております。それでは、届出順に発言を許します。7番、入江有

紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） おはようございます。入江有紀と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

一般質問に入ります前に、市長に一言、私、お願ひがあります。それは、私たち議員は一般質問をする前に、一応通告というのをしているんですけど、市長は、人が書いた文章を読み上げるだけの答弁なんです、今のとこ。だから、そうじゃなくて、前もって通告しているんですから、それを少しは勉強されて、一問一答になったときに、市長らしい御答弁をお願いします。

以上です。

それでは、通告しておりました一般質問に入らせていただきます。

老人ホームの入居待ちについて。

現在の老人ホームの入居待ちが全島で315人おられます、市長は何かの対策を考えておられますか。

文化財の管理についてお尋ねします。全島202の文化財がありますが、どのような管理をしてあるか、お答えください。

阿連地区の通学バスの混乗について。

6月の一般質問でお願いしておりましたが、阿連地区の通学バス混乗の件は、どこまで進行しているでしょうか。

最後に、PCR検査についてお尋ねします。

土日のPCR検査がなされてなくて、非常に患者の病状が悪化している状態ですが、市長はお分かりでしょうか。

以上です。お願ひします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） おはようございます。

入江議員の質問にお答えいたしますけども、冒頭、入江議員のほうから要望がございました。このことにつきましては、まず議員の皆様から通告を頂いて、それに基づいてお答えをするということにしております。

その後、一問一答につきましては、また私のほうから答弁をさせていただいているということで、今後もこのようことで、市民に分かりやすい議会と申しましょうか、答弁に努めてまいりたいと思っております。

では、入江議員の質問にお答えいたします。

まず、1点目の老人ホームの入所待機者についてでございますけれども、現在市内には19か所の入所施設が整備され、総定員は702人でありますけども、多くの施設において満床状態が

続いており、議員も御存じのとおり、現時点における入所待機者は315人の状況でございます。

近年では、平成27年に認知症対応型共同生活介護施設定員9人、平成29年に特別養護老人ホーム50床の入所施設を整備し、入所待機者削減に努めております。

国は、令和3年度から令和5年度までの第8期介護保険事業計画においては、第7期での目標や具体的な施策を踏まえ、団塊の世代が75歳以上となる令和7年、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年を見据え、地域ごとの人口推計等から導かれる介護需要等を踏まえて、第8期介護計画の策定が義務づけられました。

市におきましては、令和3年3月に高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画を策定しております。

1つ目に地域包括ケアシステムのさらなる充実、2つ目に高齢者の健康づくり、介護予防の推進、3つ目に高齢者の生活支援の充実、4つ目に高齢者の積極的な社会参加の推進、5つ目に介護保険制度の適正な運営とサービス提供体制の確保といった、様々な取組を推進し、高齢者のニーズに応える施策や医療・介護の連携を確立し、必要な介護サービスを確保してまいりたいと考えております。

議員御指摘の入所待機者の問題でございますけれども、そのことにつきましては、対馬市だけでなく、全国的に入所施設不足による待機者が発生している状況です。

対馬市の特別養護老人ホームは、6施設280床で72人の待機者、グループホームは7事業所、定員82人に対して26人の待機者がいらっしゃり、入所施設については、ニーズが高いものと認識しております。

しかし、対馬市の介護保険料基準額は、県内において高い水準にあり、今後も保険料が、上昇を続ける見込みとなっています。

また、本市の被保険者数は現在ピークを迎えており、今後は減少に転じて、介護サービス需要も減少することが想定されます。

これらの理由から、新たな入所施設の整備は、後年において、供給過多になることが想定されること、そしてさらに介護保険料基準額の増加につながることから、施設整備については、慎重に検討する必要があるため、計画には予定をしておりません。

次に、3点目の阿連地区の通学バス混乗についてでございますけれども、尾崎地区から雞知地区まで運行しているスクールバスへの混乗につきましては、前回6月の第2回定例会におきまして、尾崎地区から対馬病院までの区間において、ほぼ同じ時間帯で路線バスが運行しておりますので、スクールバスへの混乗はできないと答弁しております。

ただし、阿連今里間の路線を新設し、現在運行しております尾崎から対馬病院までの路線バスに乗り継ぐことは、可能となるとお答えしたところでございます。この件につきましては、以前

より阿連地区から強く要望されており、現在の運行状況、新規路線開設の可能性や需要見込みなどにつきまして、地区と意見交換を行っているところでございます。

今後も引き続き、阿連今里間の新規路線を開設した場合の現時点における利用者見込みや、将来的な見通しなどを調査するとともに、市営有償バスの運行等の許可に向けた制度確認、運行業者を含めた各関係者との協議を重ね、来年度4月からの運行を目指して進めてまいりたいと考えております。

次に、PCR検査の対応についてでございますけども、新型コロナウイルス感染症の相談体制につきましては、発熱等の症状がある方は、まずはかかりつけ医か最寄りの医療機関に電話で相談していただくか、相談する医療機関に迷う方については、フリーダイヤルで24時間対応の受診相談センターに、相談していただくよう御案内しているところでございます。

また、PCR検査等の検査体制については、市内の感染症指定医療機関のほか、長崎県医師会の協力を得て発熱患者等に対応可能な医療機関を、長崎県が指定登録をしており、指定登録された診察検査医療機関では、コロナウイルス感染症の診察、検査ができる体制が構築されております。

対馬市内でも複数の医療機関が指定登録されております。

なお、コロナ感染の疑いのある方への感染症指定医療機関でのPCR検査は、医師が必要と判断した場合に行われますが、平日はもちろん、土日祝祭日も実施していると伺っております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 入江議員の質問にお答えします。

文化財の管理体制についてでございますが、議員も質問に上げられていますとおり、対馬市には数多くの文化財が残されております。そのうち国の指定が28件、ほかに記録作成等の措置を講ずべきと選択された無形文化財が7件あります。

県指定の文化財は43件、対馬市指定が124件と、全部で202件に上り、その数は県下でもトップクラスです。

これらの文化財は、文化財保護法や長崎県文化財保護条例、対馬市文化財保護条例により、その保存及び活用のために必要な措置が講じられております。

対馬市指定の文化財に関しては、対馬市文化財保護審議会において、重要事項を調査審議していただき、文化財の指定や解除等についても、答申を受けております。現在教育委員会で、各分野の学識経験者11名に文化財保護審議委員を委嘱しており、委員会の開催以外にも、文化財保護行政への御指導、御協力を頂いております。

また、対馬市の文化財は数以外にも、その種類が多いことも特徴として上げられ、指定範囲も

対馬全域になっております。

そのような状況の下、市役所内の関連部署をはじめとして、国や県の研究機関、民間の保存団体、ボランティア団体などと連携、協力して文化財の維持管理に努めているところです。

特に、防犯、防災に関しましては、長崎県文化財保護指導委員による定期の巡視のほか、対馬市独自で文化財巡視員を委嘱し、年間を通じて全島を巡視しております。

また、警察や消防等の公的機関と地域の寺社など有形文化財の所有者との間で、対馬市文化財保護ネットワークを組織し、文化財の防犯、防災対策の強化を図っております。

文化財の修理、防災、管理等に関しましては、例えそれが国の指定であっても、基本的には所有者が行います。それぞれの指定に応じて国や県からの補助がありますが、さらに対馬市文化財保存事業費補助金交付要綱により 200 万円を限度に、市の補助金もございます。

いざれにしろ、所有者負担は発生しますが、教育委員会では文化財関係者の所有権、その他の財産を尊重するとともに、文化財の保護と他の公益との調整に留意しながら、対応させていただいております。

近年では、イノシシや鹿による被害に加え、豪雨や台風などによる被害も拡大してきております。建造物や案内板等の老朽化も見られますが、特に、文化財の維持管理では、国や県への手続やその方法の検討などの調査研究が必要で、通常の公共物の修理と比較して、時間も費用も要します。

本市においては、その文化財の数の多さなどから、全てを一度に処理することは難しく、優先順位を決めて計画的に管理を進めているところでございます。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 第8期の介護保険計画を今年の8月に立てられたということですが、3年に1回5年間の計画を立てるんですが、今度8期を見てみると、全然整備計画のっていないんです。それで、315人待ってあるの分からぬで立ててあるんですか。

8期は全然計画、そういうのがのってないんです。そして、福祉部長にも私はお尋ねしたんですけど、8期は全然整備計画ありませんということなんです。

でも、今は315人待って、とにかく入所できなくて老老介護しているんです。みんな。だから、これはやっぱり市のほうも考えてしてもらわんと。

それと、介護保険事業計画策定委員会のほうは、どういうメンバーでしてあるんですか、それお答えください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず、第8期の介護保険事業計画でございますけども、入江議員のほう

は5年と申されましたけれども、あくまでこれは3か年の計画でありますんで、そこはお間違えないようお願いをいたしたいと思います。

それと、要は315名の待機者がいる中で、なぜ市のはうは、その対応をしないのかというようなことでありますけども、先ほど壇上からも答弁いたしましたように、まず、対馬市の場合は、介護の保険料が県下の中でも、6番目に位置するほど高額であることが第一番で、後々また被保険者のはうに、新しく施設を整備することによって、保険料が上がってくるということを危惧しております。

それから、また2番目に今現在、ちょうど被保険者等がピークの時期でありますけども、今後これが少しづつ需要が減ってくるということで、供給過多になってはいけないということを案じております。

それと、また2006年度から、整備に関する補助金等が廃止になっております。これは国の三位一体の改革によりまして、2006年から補助金が廃止ということで、今後は民間でできるものは民間でお願いをしますという基本的な考え方の下、公設での整備は計画をしていないということで、御理解をお願いをしたいと思います。

しかしながら、小規模の多機能型の居宅介護施設やら、認知症対応型共同生活介護施設、また訪問系及び通所系のサービスにつきましては、事業所等からの意向があれば、整備に向けた検討を隨時行っていくということに、しているところでございます。

委員会のはうにつきましては、担当部長のはうから答えさせます。

○議長（初村 久藏君） 福祉保険部長、乙成一也君。

○福祉保険部長（乙成 一也君） 入江議員の御質問にお答えいたします。

介護保険事業計画策定委員会の構成者ということでございますけれども、保健医療関係者5名、そして福祉関係者2名、学識経験者3名、被保険者代表2名、被保険者負担関係者1名、それと公募委員の、合わせて14名でございます。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 今、市長が言われたことなんんですけど、施設を建てるこによつて、介護保険料が上がると言われたんですけど、今、施設に入られる方の場合、デイサービスに行っているんです。デイサービスも同じように介護保険を一応されてあるんです。

だから、介護保険で使いよるのが、ホームで払うようになるから、料金それに関しては料金が上がるということはないんです。全然介護保険料が。

だから、そこはちょっと勘違いしてあると思います。

私も、昨日までそれをそんな思っていたんです。グループホームとか整備等したら、民間の人たちの介護保険料が上がるんじゃないかなと思っていたんです。昨日介護保険課、長崎のはうに

問い合わせてみたら、上がらないんです。

デイサービスに今まで行きおったのが、入所になるから、それをこっちに移動するから、全然それは影響ないということなんです。私も、昨日までは勉強が不足しとて、そしたらそういうことなんです。

だから、グループホームとか、認知症対応型の、2ユニットぐらい造ったところで、全然介護保険料は上がりませんので、それは誤解せんように。昨日県に聞いて、ちゃんと勉強しましたんで。

それと、入居待ちが315人いてあるということ分かった上で、8月に8期の計画を立ててあるんですかで、その話は出ませんでしたか。315人。全然8期は入ってないんです。整備の計画の中に入ってないから、それとも315人入所待ちしてあるということは、全然話の中には出てこなかったんですか。

それでも、315人待つてあるけど、整備はしない。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 介護保険料の件につきましては、私そこの専門家じゃありませんので、担当職員のほうといろいろと協議をした中で、そういうふうに聞いておりましたので、またそこについては、さらに調べて勉強もしてみたいと思いますし、この後、また部長に答えさせます。

それとこの委員会の中で、315名の待機者の件は議論にならなかつたのかということでございますが、このことにつきましても、私、この委員会には出ておりません。そういうことで、ちょっと併せて部長のほうから答弁をしてもらいたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 福祉保険部長、乙成一也君。

○福祉保険部長（乙成 一也君） グループホームから施設に入所することで、金額が上がるということはないというような話でございます。

○議員（7番 入江 有紀君） そうじゃなくて、デイサービスに行きおる人が、グループホームに入る場合、グループホームができた場合、さっき市長が言われたのは、グループホームができた場合は、介護保険料が上がりますよと言われたんですけど、そうじゃなくて……

○議長（初村 久藏君） 入江君、立って言わんですか。

○議員（7番 入江 有紀君） 今言われたのは、グループホームに入ります。今デイに行ってい るわけです。だからデイサービスに使っている介護保険料が、今度グループホームのほうに行くだけなんです。だから、県の担当課と話したら、それは入江さんの勘違いですと、ただグループホームをやることによって上がるんじゃないですか、介護保険料がと言ったら、いやそういうことありませんと。デイサービスに今まで使いおったのが、グループホームに行くだけですからと いうことで、そういうことはないそうですので、それはちょっと誤解だと思います。

315人が待つてあるということで、老老介護になっているんです。私たちもお願いされて、入居がどうにかできないだろうかということで、それも88歳のおじいさんが、78歳の認知症の奥さんの面倒を見てあるんです。デイサービスには行っていますけど、ほとんど家では寝らない。中から鍵せんといかん。おむつは替えないかん。もうキリギリスみたいに瘦せてあるんです。

だから、それをどうにかして救えないだろうかと思って、ある議員さんと2人で福祉部長のところに行ってお願いしました。でもけんかになりました。

全然駄目なんです。だから私たち議員の力のなさに、本当に残念ながら、帰りながら、残念でたまりませんでした。どうにかしてあげたい、全島にはこの方だけじゃなくて、いっぱいいるんです。だからその人たちを救うてやりたいのが、私たちの考えなんです。

だからどうにかして、施設を少しでも整備して、315人の待ちを何十人でもいいじゃないですか、入れてやられたらと思って、県のほうに聞いたら、対馬市のほうで、予算を組んでこういうふうにやりますよと、県と国にお願いすればできることはないと言われたんです。

だから、それを予算を組んでしてもらいたいんです。どうにか。そうせんとやっぱり老老介護はしおる、家庭で見るということは大変なんです。認知症の患者を。

そんな方たちが、私たちが分かっているのは、ある一部だと思うんですけど、本当にいっぱいあります。だからどうにかして、救うてやりたいのがあだから、市のほうで予算を取って、県と国にお願いしてどうにかできませんかねというのが、私の今度の一般質問なんです。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 議員のおっしゃられる老老介護とか、そういうところは、私のほうも十分認識しているところであります。

そういうことで、市といたしましては、今、地域包括ケアシステムの充実等で生まれた地域、生活した地域で高齢者の方が、いつまでも暮していけるようなことをできるように、そのシステムの充実等を目指しているところであります。

それと、施設に入れなくて、一時困った事例があったということで、私のほうもそのこと報告があっておりました。それで、市としては、そんなことがあっては困るというようなことで、高齢者緊急一時保護事業によりまして、1回当たり7日間以内において、サービスの提供が実施することができることでありますので、そのことにつきましては、今後スムーズに対応ができるように、努めてまいりたいと思っております。

先ほどの保険料については、後ほど部長のほうから答えさせます。

○議長（初村 久藏君） 福祉保険部長、乙成一也君。

○福祉保険部長（乙成 一也君） 御質問にお答えいたします。

デイサービスを行っている方がグループホームに行っても、値段は変わらないという県のお答

えということでございますけれども、第8期介護保険事業計画におきましても、8期の計画内でそれらグループホームなどの施設を建てることは、保険料に影響ないといいますか、介護の事業費全体で、8期の事業費全体で賄えるということで、計画書のほうにも、必要に応じて検討する計画しております。

それから、私も介護保険計画委員会のほうには行ってなかったんですけども、入所施設待機者の解消策、入所関係の状況ですけども、令和2年度に養護老人ホームの待機者が126名いらっしゃいます。このうちに養護老人ホームに入所措置となった方が23人、その他の入所施設に入所となった方が31名あります、54名の方が、その126人のうち入所となっております。

また、居宅生活が可能なことにより、取下げが14件、入所対象外となる課税世帯の取下げが25件、年間約90名の待機者の解消とはなっておる状況でございます。

そして入所施設待機者315名のうち、要介護度3以上の方は121名です。

○議員（7番 入江 有紀君） それはいいです。分かっています。

○福祉保険部長（乙成 一也君） このような状況を短期入所生活介護事業所の137床がございますので、そこら辺を利用いたしまして、事業者と連携、協力をいただきながら、待機者の解消を図っていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 315人の家庭の方を少しでも楽にしてやるように、対馬市で考えて、第8期の計画に入ってませんけど、できるだけ頑張って、それを入れてあげて、家庭の負担をないようにしていただきたいんです。

本当にどうにかしてもらえませんか。ほんとこれは困ります。

この返事は、時間がありませんので、また来期に回しますけど、よろしくお願ひします。

その次に、PCR検査のことなんんですけど、PCRが、私、実際になられた方に、面接してきました。7月26日にPCR陽性になった方、7月27日に陽性になった方と面談して、全部一部始終を聞いてまいりました。

ところが、7月26日に陽性になった方は、7月23日の日の夜40度から熱が出ているんです。それでかかりつけの病院にということだから、対馬病院のほうに電話入れているんです。したら、土日はPCRをしていませんからということで、月曜日に来てくださいになっているんです。

だから、土日を自宅で待機しているんです。そこに27日にコロナになった人が、解熱剤を持っていっているんです。それで土曜日にうつっているんです。そしたら2人とも熱が出て、26日に行って、PCRをしたのは分かるんです。PCR検査、車の中でされて、そして自宅に

帰ってください。それから3時間自宅に帰っているんです。

そしたら、保健所から電話がかかってきて、陽性ですから来てくださいということになったんです。

だから、その3時間、40度の熱がある人を土日家に置いて、それから置いたために、解熱剤持っていた人にうつっているんです。だから土曜、日曜日にPCR、保健所とも話したんですけど、一人住まいだから大丈夫でしょうというような話だったそうです。

それで、26日に陽性になった、家に帰ってくださいと言うから、自宅だから3時間半帰っているんです。そしたら保健所から電話がかかってきて、大至急来てください、陽性になりました。そのときには肺が真っ白になってしまっているんです。

そして、入院した。27日には解熱剤持っていた人が、27日にPCRをしたらなったわけです。

だから、そのときも土曜、日曜日にPCRをしておけば、金曜日の夜に熱が出たときにしつけば、問題なかったわけです。その人にうつっていないわけです。1人。

それともう一人は、8月13日に熱が出ているんです。それは学校関係者だったんですけど、それでその人も一人住まいだったから、月曜日に来てくださいになったんです。それで月曜日に行っているんです。その間に子供たちが訪ねていっているんです。それで3人うつっている。

だから、金曜日にPCRしつけば2人で済んだことが、6人出ているんです。そういうことも、市長から病院のほうにできるだけ金曜日も家に置かずに、土日も家に置かずにしていただくようにということと、もう一つは8月初めに、熱中症で病院に運ばれているんです。そしたら、先生は、危篤状態だから、家族を呼んでくださいと言われて、そしたらということで行っているんです、3人家族が。

そしたら、PCR検査を1人2万5,000円出してもらわんと、会わせませんと言っているんです。本人に面会はさせませんと。

何で最初から、家族を呼んでくださいになるんですか。だから、それも7万5,000円払ってしているんです、PCRしてから面会しているんです。

そういうことを、先生が危篤状態だから呼んでくださいと言つとるのに、PCRをせんと面会させませんということがおかしいんです。

だから、市長から土曜、日曜日のPCRをすることと、そして金曜日に熱が出たら、両方とも金曜日、7月も8月も金曜日だったんですけど、必ずそういうのも夜でもいいからPCR検査してもらって、患者さん増やさんように、6人出たんですけど、2人で済んでいるんです。土曜日に出てたら。だからそのことも、市長にお願いしてもらいたいんです、病院のほうに。何かありますか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 入江議員、せきは大丈夫ですか。

このことにつきましては、私のほうもいろいろと保健所、そして担当部関係のほうから聞きます。まず、対馬の場合、各医療機関のほうで、コロナ対応を行っていただいておりますけども、一般的の病状症例、これも見ながらコロナ対応もしていただいているということが一点あります。

それと、土曜、日曜につきましても、PCR検査等も、これは医師の判断によって対応をしているということで、私のほうは聞いております。

確かに、今まで47例か、症例の中でPCR検査等が、多かった日が100名近くされたこともあったのではないかなと思っております。

このときは、対馬病院だけじゃなくて、上対馬病院のほうと協力体制を引いて、両方に分けていただいた上で、していただいているということを、報告は頂いておりました。

それと、まず、この対応につきましては、医師の判断の下ということが大きな原点でありますので、（「それは分かっています」と呼ぶ者あり）私のほうからはそういう要望はいたしますけども、ただただ先ほども申しましたように、病院の医師の方たちも大変コロナ禍の中で、御苦労をされておりまして、対馬の病院が逼迫しないようなことで、対応をしていただいているということは、御理解いただきたいと思っております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） 保健所ともそのことについては、10回ぐらいやり取りしたんですけど、やっぱり病院のほうが大丈夫だろうということで、家に待機させているんです。保健所のほうとしては、自分たちに言ってもらえば土日ありますけど、病院のほうが大丈夫だろうということで、自宅待機させているんです。

それも一人もんだからということで、大丈夫だろうということしておりますけど、そこに訪ねていった人がうつっているわけですから、4人。

金曜日の夜から熱が40度出るとやつたら、金曜日の夜にPCRしていただきたいなと思うとが普通です。

それと、軽い、熱が8度5分ぐらいの人は、宿泊療養所に移されているんです。軽い人たちはところが、酸素吸入してくれないんです。設備が。それで、入れられた次の日に40度から熱が出て、息がつけなくなつて救急車で運ばれているんです。救急車で運ばれるときの様子を聞きましたけど、亡くなった人がビニール袋に入れられて、ファスナーをして、それに入れて運ばれています。

それで非常に苦しくて、全部一部始終聞いてきたんです、私。

だから宿泊療養所のほうにも、一応軽い人隔離するときにも、酸素吸入設備をつけていただきたいと思います。

そのことも市長から言ってもらいたいんですけど。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず療養所のほうにつきましては、県のほうが管理しておりますので、そこら辺は県のほうにも、今の現状等はお聞きしたいと思っております。

それと、あと一点、救急車に亡くなった方を乗せたとかいうこと。

○議員（7番 入江 有紀君） 亡くなった方じゃなくて、亡くなったときのビニール袋に入れる、あれに入れて運んでいるんです。

○市長（比田勝尚喜君） それは消防署長のほうに、答えさせますけど、（発言する者あり） そうですか、よろしいでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 7番、入江有紀君。

○議員（7番 入江 有紀君） それと、文化財の関係なんんですけど、全島にある202の文化財がとにかく整備をされてないということなんです。

それで、私、おととしの10月に長崎の市会議員さんたちが、五、六人来ました。姫神山砲台に案内して行ったんです。4人は。

そしたら、草はここまでぐらい生えて、台風上がりやったから、下に車を置いてずっと歩いたんですけど、砲台の上の雑木がすごいんです。前はきれいに切ってから、下の浅茅湾一望できていたんですけど、それも全然できてなくて、そのときに、おととしの10月に一応注意をしてました。

雑木も切ってから下を見るようにせんねというと、そのときまで、私は文化財課がたくさんおるもんだと思っていたんです。ところが今度事情を聞いてみたら、たった4人しかいないんです。その4人が、課長のほうは、1人は文化会館の館長も兼ねているらしいんです。

この4人で、あれだけ百幾らもある文化財を守るということは、到底無理だと思うんです。だから、もうちょっと文化財課の人数を増やし、私も今度また登って怒ったんです。全然切ってないから雑木を。あれから2年になりますけど、何もしてないんです。

だからもうちょっと人数を増やしてくださって、職員の、あれじゃ4人であれだけの管理をするということは大変だと思います。教育長はどう思われますか、それを。たった4人でできると思いませんか。

○議長（初村 久藏君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 人数的には厳しい状況にありますけれども、文化財課としては、私たちとしては、その人数の中でやっていくしかない現状です。だからその中で優先順位を決めなが

ら、進めております。

去年の台風後、万松院のほうで大きな被害が出ましたので、そちらのほうを優先して、台風後は対応したというふうに記憶しております。姫神山につきましても、先週末に職員で、通常は緒方地区の方であるとか、観光部局、またはボランティアの皆様の協力を頂きながら、除草作業は年に数回やっております。

先週末に、職員ができる樹木の伐採は行っておりますので、少しは見晴らしもよくなっていますので、また行っていただけたらと思います。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 入江有紀君、時間が来ておりますんで、簡単にお願いします。

○議員（7番 入江 有紀君） 最後にですけど、文化財課の人数を増やすようなことはできませんか。そうせんとあれじや無理だと思います。あれだけの人数で。

そして、また4人のうちの1人は博物館のほうに行けば、あと3人しかいないんです。それがあちこちの文化財を守ることは絶対無理だと思いますので、増やすことを検討していただけませんか。お願いします。

以上です。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで入江有紀君の質問を終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開は、11時10分からとします。

午前10時52分休憩

午前11時09分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き市政一般質問を行います。1番、糸瀬雅之君。

○議員（1番 糸瀬 雅之君） 皆様、おはようございます。対政会の糸瀬雅之でございます。

6月の一般質問に続きまして、2回目の質問をさせていただきます。

入江議員さんの後で、大変、比田勝市長さんも熱くなられているかと思いますけども、私は冷静に落ち着いて質問させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

今、世の中の話題といいますと、新型コロナウイルスのニュースやら、自民党の総裁選挙のニュースが連日のように放送されております。

対馬市内におきましても、8月に新型コロナウイルスの感染者が11名ほど発生いたしましたが、その後市民皆様の感染対策等の予防により、御協力で、対馬市内におきましては、収束の傾向に向かっているのではないかと思います。